

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月25日

団体所在地 東京都千代田区神田神保町 2-20
SP 神保町ビル第2ビル4階
団体の名称 株式会社 小学館アカデミー
職・氏名 代表取締役 喜田 力
(施設名 三次市東光保育所)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

・草花あそび

・生き物とのふれあい

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

・菜園活動

・どろんこあそび

・水あそび

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

・自然物を使用した制作物

・染物あそび(よもぎ・玉ねぎの皮・黒豆)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

・コンポスト作り

・雪あそび

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述) 【春探し】

- ・春を探しに、“畠敷児童遊園”に散歩に出かけると土手下に春の草花が咲いていた。「このヨモギの葉っぱは食べられるんだよ」と子どもに伝えると、子どもたちは「え～っ！」と驚きの声と同時に興味津々。子どもたちは夢中になって探しはじめた。
- ・手についたヨモギのにおいを嗅いで、「いいにおい」や「くさい」など、五感を使って体験していた。
- ・収穫したヨモギを持ち帰ると「ヨモギつんだよ」と調理員に渡す子どもたち。給食時間に“てんぷら”になって出てくると野菜が苦手な子も食べて見ようとする姿があり、食育につながる活動となった。
- ・後日散歩に出かけると、「このまえとったよね」「こっちのはっぱはたべられるかな？」など身近な自然に興味をもち観察したり触れたりして図鑑を広げて草花を探す姿がみられた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述) 【菜園活動】

- ・子どもたちがより身近に野菜を感じることで、苦手感を持たず食せるようにと食育活動の一環として毎年行っている菜園活動。
- ・5月に種から植え、毎日水やりをして出た芽が生長して行く過程を保育士や友だちと共に楽しんだ。
- ・夏の収穫の際には、手指にしっかりと力を込めて持つ場所や持ち方など、抜く為の工夫も自然に行いながら、期待を込めて人参を抜いた。(徐々に上手く)
- ・収穫した人参を友だちと見比べ「おおきい」や「ながい」との言葉も聞かれた。匂いや色にも触れ、全身で人参を感じていた。
- ・人参を喜んで洗い、後日、調理員と一緒に“人参ホットケーキクッキング”をした。人参をすりおろしたり生地に混ぜたり、興味をもって楽しみ、最後には食し、おかわりの行列ができていた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述) 【染物あそび】

- ・食育の一環で“玉ねぎの皮むき”をしている時「この皮どうするの？」の子どもの声があった。そこで“草木染め”の絵本を読むと興味を示し、みんなで染め物をしてみることに。“よもぎ”“黒豆”も含め3種類の染め物を体験した。
- ・3種がどんな色になるのかを予想し、なぜそう思うのか考えを出し合った。(それぞれの考えを尊重しながら、伝える勇気と聞く姿勢も大切にしていた)
- ・素材から出る色だけでなく、香りや感触などの気付きを友だち同士共有し、色の変化を楽しんだ。
- ・後日、染め物後の“黒豆”から根が出ていることに気付き、植えてみると芽が出て収穫することもでき、子どもたちの発見や経験につながった。
- ・各自、家から持参したTシャツを絞り染めにし、運動会のユニフォームとして喜んで着用した。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述) 【雪あそび】

- ・不思議そうに「しろ～」と雪を眺める子どもたちに、雪に触れる楽しい経験をしてほしいと考えた。
- ・初めて雪が降った日にタライに雪を入れ、室内で雪に触れる経験を試みた。多数の子どもたちが喜ぶ中、本児は見つめるばかりで抵抗感を示していた。
- ・繰り返し“タライの雪遊び”をするうちに、楽しい周囲の様子を見て興味がでてきた本児。
- ・ある日、積もった雪を見て「ゆき、する」と保育者に伝えてきた。
- ・園庭に出ると、まずは真っ白な雪の上を長靴で確かめるように踏みつけ、音や足跡を楽しむ姿が見られた。“ギュッ ギュッ”なんだか楽しい…♪
- ・「楽しいね」と声をかけるとニコリ微笑んで雪の上をそっと歩き続ける可愛い姿が見られた。振り返っては確かめるように笑顔になっていた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

保育ドキュメンテーションを作成、カンファレンスを毎月実施。

自然と触れ合う子ども達の様子を職員全員で振り返りながら、子ども一人ひとりが自然を楽しみ、自然を通して学びを得る環境、援助について話し合い、資質向上に努めている。

- ・ 地域との関わりについて

三次市シルバー人材サービスより、種や花などを提供していただいている（毎月）

また、カブトムシの成虫をいただき、飼育をしている（年1回）

地域の学生との交流をしながら SDG s を学んでいる（年1回）

- ・ 保護者との関わりについて

参観日等を活用し、保護者の方にも体験していただく機会を設けている（年2回）

カブトムシの幼虫を保護者の方からいただき、飼育している。（親子で飼育ケースを覗いては、成虫になる夏が来ることを楽しみにしている）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://hoiku.shoppro.co.jp/hoiku/news/toukou/
-------	---